

令和 2 年国勢調査集計結果による就業状況について

1 成果指標

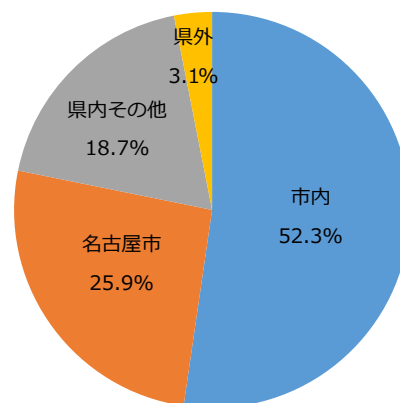
指標名	基準値	現状値	目標値	現状値に対する評価
市内就業者数 (人)	118,772 (2015年)	117,476 (2020年)	120,000 (2025年)	新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞が、雇用や就業に影響を与え、就業者数が減少したと考えられる。

2 本市の現状

(1) 就業者の勤務地

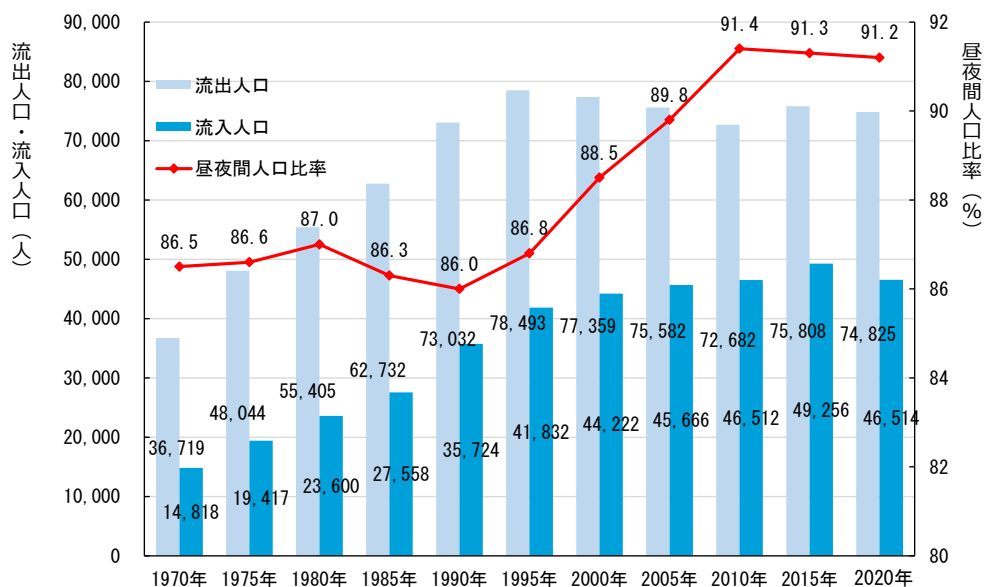
本市に居住する就業者の勤務地は、愛知県内で勤務する者が約 97% に上ります。このため、本市の経済状況だけでなく、名古屋市など愛知県内の経済状況が市民生活に大きく影響します。

※グラフは、従業地・通学地「不詳」を除いた勤務地の内訳を示している。
出典：総務省「国勢調査」



(2) 流出人口・流入人口と昼夜間人口比率

流出人口（本市から他の自治体へ通勤・通学する人口）、流入人口（他の自治体から本市へ通勤・通学する人口）は、ともに減少しています。市内経済が活性化することで、就業人口や流入人口の増加が期待されるため、地域経済の発展や雇用の創出を図ることが必要です。



昼夜間人口比率… $\frac{\text{昼夜間人口}}{\text{夜間人口}} \times 100$ (夜間人口 100 人当たりの昼夜間人口)

昼夜間人口… $\text{夜間人口} + \text{流入人口} - \text{流出人口}$

出典：総務省「国勢調査」